

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月03日

計画の名称	周南市における安心安全で快適に暮せる水環境の実現												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	周南市												
計画の目標	下水道整備を実施することで、安心安全で快適な生活環境と美しい地域の形成を実現する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	612	A	612	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	污水管渠整備区域面積を3,023ha(H26)から3,041ha(H31)に増加させる。 污水管渠整備区域面積 污水管渠を整備した面積(ha)	3023ha	ha	3041ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	周南市	直接	--		管渠(汚水)	新設	徳山中央処理区汚水枝線 A1-1-1	0.6ha	周南市					21	-	
	A07-002	下水道	一般	周南市	直接	-	-	-		徳山中央処理区汚水管・ 処理場他 A1-1-2	調査・詳細設計等	周南市					40	-	
	A07-003	下水道	一般	周南市	直接	-	-	-	管渠(汚水)	新設	徳山東部処理区汚水枝線 A1-2-1	8.0ha	周南市					280	-
	A07-004	下水道	一般	周南市	直接	-	-	-		徳山東部処理区汚水管・ 処理場他 A1-2-2	調査・詳細設計等	周南市					20	-	
	A07-005	下水道	一般	周南市	直接	-	-	-	管渠(汚水)	新設	新南陽処理区汚水枝線 A 1-3-1	2.7ha	周南市					96	-
	A07-006	下水道	一般	周南市	直接	-	-	-		新南陽処理区汚水管・処 理場他 A1-3-2	調査・詳細設計等	周南市					10	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-007	下水道	一般	周南市	直接	-	管渠(汚水)	新設	周南処理区汚水幹線 A1-4-1	L=0.3km	周南市						15		-	
	A07-008	下水道	一般	周南市	直接	-	管渠(汚水)	新設	周南処理区汚水枝線 A1-4-2	1.7ha	周南市							45		-
	A07-009	下水道	一般	周南市	直接	-	-	-	周南処理区污水管他 A1-4-3	調査・詳細設計等	周南市							20		-
	A07-010	下水道	一般	周南市	直接	-	管渠(汚水)	新設	鹿野処理区污水枝線 A1-6-1	1.0ha	周南市							65		-
											小計							612		
											合計							612		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 事業担当課 周南市上下水道局（企画調整課、下水道工務課）	事後評価の実施時期 令和3年7月
	公表の方法 周南市のホームページに掲載する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	整備面積が3,023ha（平成26年度）から3,051ha（平成31年度末）に向上したことにより、新たに28haの区域の水環境及び住環境が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き管渠の整備を推進し下水道整備率を向上させていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終 目標値	3041ha	地元の協力により目標値を超えることができた。
	最終 実績値	3051ha	